

10月17日(土)

秋の雷別自然再生学習会

10月17日(土)、雷別地区自然再生事業を知ってもらうため、市民等を対象とした自然再生学習会を行いました。今回は、「雷別自然再生事業地の現地見学と植樹体験」、「広葉樹(ヤチダモ)のタネ採取」を行い、実際の作業体験を通して自然再生事業への理解を深めてもらいました。

まず初めに、現地看板を利用して「なぜ森を再生するのか」、「どんな森をつくるのか」など事業概要の説明を行いました。その後、9月に地拵をした箇所に、ミズナラ・ハルニレ・イタヤカエデ・ヤチダモ・シラカンバの苗木200本を植樹しました。

午後からは、高枝鋏、竿の先に特殊な刃物を取り付けたタネ採り器？を用いてヤチダモのタネの採取を行いました。参加した人達は、木になっているタネを採るのが初めてで、タネが採れるたびに驚きの声を上げていました。

参加者の皆さんにとって、今回の学習会を通して、自然再生事業がより身近なものとなれば幸いです。

(自然再生指導官 朝倉)



ヤチダモのタネの採取



自然再生事業の説明



広葉樹の苗を植樹(ミズナラ・ハルニレ・ヤチダモ等)



植樹作業の後、参加者全員で記念撮影



採取したヤチダモのタネ